

# 教育だより

平成26年(2014年)4月30日

練馬区教育委員会

練馬区豊玉北6-12-1

☎3993-1111

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikulink.html>

## 学校教育支援センターを開設しました



平成26年4月1日(火)に学校教育支援センターを開設しました。同センターは、教育研究や研修、教育相談や教育情報の発信の拠点として、教育に関する支援を総合的に行います。また、同センターには、防災学習センターと練馬介護人材育成・研修センターが併設されています。

開館時間 ● 午前9時～午後9時30分 休館日 ● 年末年始

※総合教育センター(高野台2-25-1)の建物は、生涯学習センター分館になりました。



### 主な施設内容

- 研修室 ○ 教科書センター・研究室
- 教育相談室・適応指導教室：子供の発達の過程で生じる様々な悩みの相談に応じ、また、不登校等の子供たちの支援を行います。
- 展示室 統合・廃園した光が丘地区の小学校、幼稚園の記念品を展示しています。
- 地域交流コーナー 地域の方が自由に交流できるスペースです。  
※体育館、運動場、研修室、調理室は、団体が利用できます。  
※施設によって、利用時間・利用方法が異なります。詳しくはお問い合わせください。



【問合せ】学校教育支援センター（電話 6385-9911）

## 練馬子ども家庭支援センター練馬駅北分室を開設しました

平成26年4月23日(水)、練馬駅北口の複合施設「Coconeri(ココネリ)」4階の「こどもほっとステーション」内に、練馬子ども家庭支援センター練馬駅北分室・練馬びよびよ(一時預かり室)を開設しました。



所在地：練馬区練馬1-17-1 Coconeri4階

電話：6758-0141

### 事業内容

- 子供と家庭の総合相談

#### 【実施曜日と時間】

月～金曜：午前9時～午後7時

土曜：午前9時～午後5時

※日曜と祝休日は除きます。

- 乳幼児一時預かり ※6月1日(日)から実施します。

#### 【対象】

練馬区在住の生後6か月から6歳(小学校就学前)までの児童

※疾病等の場合は利用できません。

※乳幼児一時預かり事業の詳細は2面をご覧ください。

【問合せ】練馬子ども家庭支援センター（電話 3993-8155）

## 平成26年度の教育予算の概要をお知らせします

平成26年度の教育予算（教育費・こども家庭費）は752億7,388万円で、区予算全体の31.5%を占めています。

この教育予算の中で、教育費では、学力の向上、豊かな心の育成および健康・体力の増進等の教育内容の充実や、安全・安心な教育環境の整備などに取り組みます。

こども家庭費では、地域全体で子供を守り育てる仕組みづくりを進め、成長段階に応じた切れ目のない子ども・子育て支援施策を推進します。

### 平成26年度の主な事業

#### ★教育費（246億9,803万円）

##### ◆学校安全安心対策への新たな取組（1,976万円）

子供たちの安全を確保するため、警察官OBの「学校防犯指導員」を教育委員会事務局内に配置するなど、子供の安全に関する総合的な支援体制を整備します。関連記事：3面

さらに、地域ボランティア等を対象とした防犯に関する講習会を行うため、スクールガード・リーダーの派遣を行います。

##### ◆学校教育支援センターの開設 （2億4,596万円）

総合教育センターを発展的に改組した「学校教育支援センター」を平成26年4月に開設しました。関連記事：1面

また、区内4室目となる「仮称大泉教育相談室」の整備に向けて基本設計に着手します。

##### ◆特別教室等への空調機の設定 （1億8,817万円）

夏季の猛暑時においても適切な教育環境を確保するため、空調機が設置されていない区立小中学校の特別教室・給食室および区立幼稚園の保育室に空調機を導入します。

#### ★こども家庭費（505億7,585万円）

##### ◆保育所待機児童対策の充実 （26億5,811万円）

都用地を活用して誘致する1園を含む私立認可保育所13園、認証保育所2園の開設およびグループ型家庭的保育事業2か所、小規模保育事業5か所の実施にかかる経費の補助を行うなど、平成27年4月に向けて1,300人規模の定員拡大を図り、待機児童ゼロをめざします。

##### ◆「こどもほっとステーション」の開設による 子育て支援の充実（2億1,631万円）

練馬駅北口の「Coconeri（ココネリ）」に、練馬子ども家庭支援センター練馬駅北分室のほか、病児・病後児保育室を併設した認証保育所および小児科診療所からなる子育ての拠点施設「こどもほっとステーション」を開設します。関連記事：1面

##### ◆子どもたちの居場所づくりの拡大（1億8,673万円）

学童クラブと各小学校の学校応援団ひろば事業との連携を強化するため、学童クラブの校内移設を進めます。平成26年度は、大泉学園緑小学校に学童クラブ室とひろば室の合築施設を整備します。

また、夏休み中の子供たちの安全で安心な居場所となる「夏休み居場所づくり」モデル事業を、6校に拡充します。

【問合せ】教育総務課 庶務係（電話 5984-5609）

### 練馬子ども家庭支援センター練馬駅北分室の乳幼児一時預かり事業

平成26年6月1日（日）から練馬子ども家庭支援センター練馬駅北分室で乳幼児一時預かり事業を行います。

【対象】練馬区在住の生後6か月から6歳（小学校就学前）までの児童 ※疾病等の場合は利用できません。

【実施日と時間】年末年始を除く毎日 ①午前9時～正午 ②正午～午後3時 ③午後3時～午後6時

☆ご利用は週に2日まで。3時間を1単位として1日に2単位まで。

☆ご利用には事前の登録が必要です。利用申込みは、利用月前月の初日から受け付けます。当日受付も行います。

【利用料】0歳：3時間1単位 2,000円、1歳以上：3時間1単位 1,500円 ※利用日時点の年齢です。

【定員】1単位あたり15名（内、当日受付3名）

※練馬駅北分室・練馬びよびよ（一時預かり室）での乳幼児一時預かり事業の実施に伴い、6月以降、練馬駅南分室・練馬びよびよ（ひろば室）【住所：練馬区豊玉北5-18-12】は、通年、子育てのひろばとして開室します。

【問合せ】練馬子ども家庭支援センター（電話 3993-8155）

# 平成26年度の練馬区教育委員会教育目標を決定しました

## [教育目標]

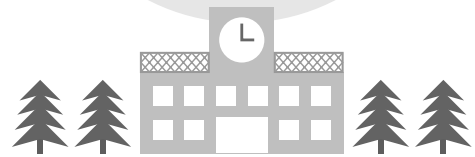
練馬区教育委員会は、「練馬区基本構想」で掲げる「ともに築き 未来へつなぐ 人とみどりが輝く わがまち練馬」の実現をめざし、次代を担う子供たちの健やかな成長を支援していきます。

学校教育にあつては、教育基本法の精神にのっとり、人間尊重の精神を基調とし、学校・家庭・地域社会との緊密な連携のもとに、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな子供の育成を図ります。

また、児童福祉にあつては、児童福祉法の精神にのっとり、子供の最善の利益を図ることを基調とし、子供自らの「育つ力」と家庭の「育てる力」を大切にしながら、地域社会との連携のもとに、心身ともに健やかな子供の育成を図ります。

「教育目標」を達成するため、総合的かつ一体的に、以下の基本方針に基づき施策を推進します。

- 1 人権尊重の精神と社会貢献の精神の育成
- 2 豊かな個性と創造力の伸長
- 3 家庭教育の支援と子供たちの健全育成の推進
- 4 子供に対する一貫した成長支援
- 5 自然環境の保全と文化遺産の保存・活用・継承



※教育目標の全文は、「練馬区教育委員会事務局ホームページ」(<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/mokuhyo.html>)でご覧いただけます。

[問合せ] 教育総務課 庶務係 (電話 5984-5609)

## 子供の安全・安心対策の充実

練馬区教育委員会では、子供たちの安全を確保するため、平成26年2月から、不審者の発生等により重点的な見守りが必要とされる学校について、民間警備員を派遣し、登下校時の見守りおよび周辺の巡回を行っています。

また、警察との連携を強化する観点から、平成26年4月より警察官OBを「学校防犯指導員」として採用し、防犯施策等に関する助言・指導・支援などの業務を担ってもらっています。

これからも、地域との連携強化、情報の共有化および安全教育的充実という視点で更なる対策の充実を図っていきます。



[問合せ] 教育総務課 庶務係 (電話 5984-5609)

## 小中一貫教育研究グループを拡大しました

区では、義務教育9年間を見通した指導方針のもと、小学校と中学校の教員が協力して子供たちを育てることで「学力・体力の向上」「豊かな人間性・社会性の育成」「安定した学校生活」をめざす小中一貫教育に取り組んでいます。

平成25年度末には、23年4月に開校した小中一貫教育校大泉桜学園をはじめ、区内34中学校区のうち18中学校区に小中一貫教育の研究・実践が広がりました。27年度には、全中学校区で小中一貫教育に取り組む予定です。

また今年度、小中一貫教育の取組を発表する「ねりま小中一貫教育フォーラム」を開催する予定です。

[問合せ] 教育企画課 新しい学校づくり担当係 (電話 5984-1034)



小・中学校教員が合同研修会を行い指導力を高めています

26年度に新たに小中一貫教育研究に取り組む学校

- ① 練馬東中・練馬東小
- ② 石神井中・石神井小・上石神井北小
- ③ 谷原中・谷原小・北原小
- ④ 大泉西中・大泉第三小・大泉第四小・大泉西小
- ⑤ 大泉北中・大泉第一小・大泉北小
- ⑥ 大泉学園中・大泉学園小・大泉学園緑小
- ⑦ 関中・石神井台小・関町北小



# 「練馬区いじめ防止実践事例発表会」を開催しました。

子供たちが、いじめについて考え、いじめを防止する気持ちを育てることを目的として、平成26年1月27日（月）に「平成25年度練馬区いじめ防止実践事例発表会」を開催しました。今回で6回目を迎えた本会を、より多くの保護者や地域の皆様にご参加いただけるよう練馬文化センター小ホールで行いました。

「練馬区いじめ一掃プロジェクト」の取組の一つとして、区内小中学校の児童生徒から「練馬区いじめ防止シンボルマーク」を募集しました。33,414点の応募があり、どの作品にも「いじめをなくしたい」等の思いや願いが込められていました。3部門（小学校1・2・3年生の部、小学校4・5・6年の部、中学校の部）で30人の入賞者を表彰しました。最優秀賞の作品を用いた「いじめ防止ポスター」を区内施設や町会の掲示板に掲示する等、いじめ防止のための取組をより一層充実していきます。

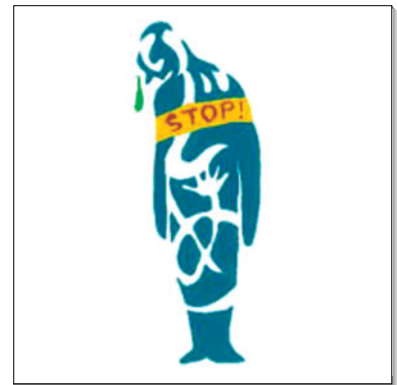
## 平成25年度 練馬区いじめ防止シンボルマーク 最優秀賞



開進第二小学校  
3年 木下 青葉



豊玉南小学校  
5年 杉浦 由加子



小中一貫教育校大泉桜学園  
7年 並木 景

## 練馬いじめ防止シンボルマーク入賞者

	小学校1・2・3年生の部		小学校4・5・6年生の部		中学生の部	
	学校名	氏名	学校名	氏名	学校名	氏名
最優秀	開進第二小	木下 青葉	豊玉南小	杉浦 由加子	大泉桜学園	並木 景
優秀	開進第一小	笠継 莉愛	旭丘小	山岸 心音	田柄中	藤井 遥香
	開進第二小	中村 早希	大泉第二小	富田 裕士	上石神井中	細川 真由
入選	大泉北小	貝嶋 美紗希	大泉学園緑小	金山 楽	大泉第二中	荒関 雪菜
	光が丘夏の雲小	石塚 りさ	練馬小	鈴木 舞	開進第二中	小林 秀美
	石神井東小	樋口 泰樹	練馬東小	加藤 雄太	大泉中	山本 純平
	石神井台小	酒匂 優多	田柄小	古屋 すずな	大泉中	内藤 睦
	関町小	山内 遥花	向山小	志田 來海	大泉第二中	長島 伊都
	大泉第三小	中岡 杏菜	谷原小	古水戸 早紀	大泉西中	武井 海都
	富士見台小	榎本 茉奈	南が丘小	三橋 奏子	関中	中尾 清香

【問合せ】教育指導課 指導主事（電話 5984-5759）



# 石神井公園駅高架下に 図書館資料の受取窓口ができました



石神井公園駅高架下に、予約した図書館の本やCDなどの受け取りや返却ができる受取窓口が、平成26年4月10日(木)にオープンしました。

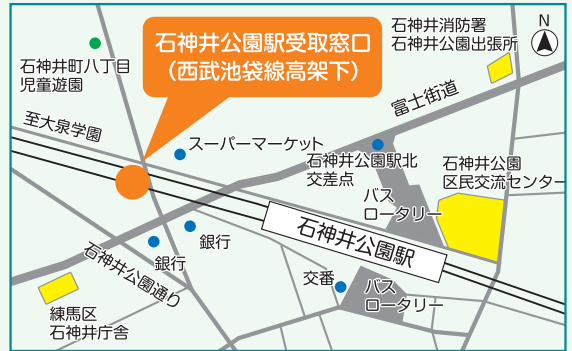
予約の際に受け取りを「石神井公園駅受取窓口」と指定し、受け取り時に図書館利用カードをお持ちください。

石神井公園駅西口から徒歩3分の便利な場所です。ぜひ、ご利用ください。

※受け取りや返却ができる資料は、練馬区立図書館所蔵のものに限ります。

※練馬区立図書館を初めて利用する際の利用登録や変更登録、資料の閲覧・相談・予約などはできません。

- 住 所** 練馬区石神井町7-1-2
- 開館時間** 平 日:午前10時30分～午後8時  
土日祝休日:午前10時30分～午後7時
- 休 館 日** 第2月曜日を除く月曜日  
※月曜日が祝休日の場合は開館し、直後の祝休日でない日が休館日となります。  
年未年始(12月29日～1月4日)



【問合せ】石神井公園駅受取窓口(電話 5923-7401)

## ✻✻✻ 学校応援団の紹介 No.11 ✻✻✻

地域の方が中心となって、放課後の児童の遊び場の確保・異年齢児の交流・読書の推進を図る組織「学校応援団」。シリーズ第11弾は2つの学校応援団を紹介します。

### 光和小学校応援団まつり

光和小学校応援団は、町会・PTA・青少年委員・青少年育成石神井地区委員会・石神井児童館と共催で、学校応援団まつりを平成26年2月2日(日)に開催しました。子供たちは、図書室で人形劇を観たり、校庭で巨大迷路に挑戦したり、体育館で大縄を跳んだりと寒さに負けずに楽しく元気に過ごしていました。



人形劇を観ている様子



ゴールまで無事たどり着けるかな?

### 上石神井北小学校応援団まつり

上石神井北小学校応援団は、青少年育成地区委員会と共催で学校応援団まつりを平成26年2月2日(日)に開催しました。子供たちは、障害物リレーで平均台や綱をくぐったり、手作り工作で動物を作ったりして、みんなで仲良く遊んでいました。



手作り工作の様子



可愛い犬の完成です



障害物リレーで白熱しました

【問合せ】子育て支援課学校応援団・開放係(電話5984-1057)

# 平成26年度練馬区青少年育成活動方針を策定しました

区では青少年育成活動方針に基づいて、地域ぐるみで、青少年の健全な育成を図っています。  
平成26年度の練馬区青少年育成活動方針では、以下の目標を掲げています。



- 1 心のかよう明るい家庭づくりを進めよう
- 2 青少年の社会参加の機会を増やそう
- 3 健全で安全な社会環境づくりを進めよう
- 4 家庭・学校・地域・関係機関の連携を推進し、強化しよう



【問合せ】  
青少年課 青少年係(電話5984-4691)

## 『地域で子供を育てよう!』

～子供の教育に関する講座を団体に企画・運営を委託し実施しています～

- ねりま遊遊スクール** スポーツ、ものづくり、自然体験など、子供たちがいろいろなことを体験したり挑戦できる講座を年間約450講座、実施しています。
- すまいるねりま遊遊スクール** 今年度から主に知的障害のある小中学生を対象として、工作、料理、音楽、スポーツなどの講座を休日に実施しています。
- 子育て学習講座** 子育て中の保護者などを対象として、読み聞かせや子供理解など、子育て支援、家庭教育支援を目的とした講座を実施しています。
- 子供安全学習講座** 小中学生や保護者を対象に、地域安全マップ作りなど、子供の安全や安心、防犯等をテーマとした講座を実施しています。
- ねりまイクメン講座** 父親が育児や家事に参加できるように、父親や父子を対象として、料理や工作など父子のふれあいをテーマとした講座を実施しています。



※参加者募集については、毎月発行する「練馬区教育委員会委託講座 情報誌『らぼナビ』(図書館、体育館などで配布しています)、区報および区ホームページなどでご案内します! 【問合せ】青少年課 育成支援係(電話5984-1292)

参加者募集

## 中学生のための情報番組制作ワークショップ 全10日間

最新の施設・設備を使って、自分達の力で、企画から取材・編集・スタジオ収録を行い、情報番組を制作します。国内で唯一のワークショップをあなたも体験してみませんか?

日時：6月、7月の土曜日と夏休みの午後を予定  
 場所：日本大学藝術学部江古田校舎  
 講師：日本大学藝術学部放送学科主任教授  
 鈴木 康弘先生  
 定員：20名(応募者多数の場合は、抽選)  
 参加費：200円(保険料)



☆詳しくは、6月1日号区報および区ホームページなどでご案内します! 【問合せ】青少年課 育成支援係(電話5984-1292)

## 青少年育成地区委員会(第八地区委員会)の紹介

区内には17の地区委員会があり、青少年育成地区委員が子供たちのために地域の特色を生かした行事や良好な社会環境づくりを行っています。今回は、第八地区委員会の秩父キャンプについて紹介します。



秩父キャンプは、運営スタッフとして高校生・大学生ボランティアも加わり、毎年夏休みに小学校高学年と中学生を対象に1泊2日で実施しています。野外工作、飯ごう炊さん、キャンプファイアー、花火やナイトハイクなどで初日を楽しみ、翌日は川遊びやスイカ割りなどで夏を満喫します。



当地区委員会のキャンプの特色は、五感を研ぎ澄ますため、朝5時からの早朝観察会で、鳥の声・セミの羽化・植物観察などを行うことです。希望者だけを対象にしていますが、驚くほど多くの子供たちが早起きして参加します。

【問合せ】青少年課 青少年係(電話5984-4691)





# 児童館中高生の居場所づくり事業

## 栄町児童館・東大泉児童館で新たに始まりました！



児童館では「中高生の居場所づくり事業」を実施しています。4月から新たに栄町児童館・東大泉児童館(週2回いずれも火曜・木曜午後7時まで)で事業を開始し、現在10館で実施しています。

各児童館では、中高生の友達同士が放課後などにおしゃべりやスポーツ、楽器の演奏など自由に過ごす場を提供しており、ギター・ドラム等の楽器やパソコンも用意しています。

また、中高生の意見を反映したイベントの実施や音楽・料理・スポーツなどの自主的なクラブ活動をサポートしています。

中高生の居場所づくり事業に来館する児童は、主に小学生の時から児童館へ来館していた児童が多く、各館では小学生の時から継続した取組が行われています。 【問合せ】子育て支援課 子ども育成係 (電話5984-5827)



## 第17回 ねりまの児童館展 ~あそぼう！みんなの児童館~

平成26年1月25日(土)・26日(日)、17回目となる「ねりまの児童館展」が、練馬区立美術館で開催されました。「ねりまの児童館展」は“触れて”“遊んで”“おもしろい!”参加型の展示が特長です。会場では「ねり丸」くんがお出迎え、「ビーズ手芸」や陶芸の「はにわ」が展示されたほか、木製ジグソーパズルやボール運びゲーム・小麦粉遊具「こむぎん」などに、子供たちは大喜びでした。親子で「けん玉」にチャレンジしたり、「占い」や「つぶや木」に保護者の皆さんからも笑みがこぼれ、会場全体が「ねりまの児童館」に早変わりした二日間でした。児童館は地域の子育て・子育て支援を柱に事業を進めています。ぜひお気軽にお出かけください。



感触が楽しい「こむぎん」



「占い」のけっかにドキドキ!



ここをこう折って・・・

【問合せ】子育て支援課 子ども育成係 (電話5984-5827)

## 教育委員会の動き (平成26年1月~3月)

平成26年1月から3月までの教育委員会は、定例会6回を開催いたしました。

主な議案、協議等はつぎのとおりです。詳細な案件につきましては教育委員会ホームページもしくは【問合せ】にてご確認ください。

### 議案

- 平成26年度練馬区教育委員会教育目標の制定について ●平成26年度教育関係当初予算案について
- 平成25年度教育に関する事務の管理および執行の状況の点検・評価(平成24年度分)報告書について
- 練馬区教育委員会会議規則の一部を改正する規則 ●練馬区教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 (他17件)

### 協議

- 平成25年度教育に関する事務の管理等に係る点検・評価について
- 平成26年度練馬区教育委員会教育目標について ●平成25年度卒業式「お祝いの言葉」について
- 練馬区立学校の教育課程の在り方について (他1件)

### ~教育委員会は傍聴できます~

教育委員会では、教育行政全般について、審議・決定しています。開催日、議題およびこれまでに開催した会議の詳しい内容については、教育委員会ホームページに掲載しています。会議はどなたでも傍聴できます。傍聴を希望する方は、開催場所を確認の上、開催当日に手続をしてください。なお、傍聴の受付は会議開始時間の30分前から始め、傍聴者が18名に達した時点(原則として先着順)で締め切らせていただきます。

【ホームページアドレス】<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikuiinkai/index.html>

【問合せ】教育総務課 庶務係 (電話 5984-5609)

## 平成25年度 練馬区教育委員会児童・生徒表彰

教育だより第166号にてお伝えいたしました、平成25年度練馬区教育委員会児童・生徒表彰について追加表彰がありましたのでお知らせいたします。また、前号での記載に一部誤りがありましたので、お詫びとともに下記のとおり訂正いたします。

### 【追加表彰】

学校名	氏名	表彰内容
大泉南小学校	浅野 淳也	サッカー
大泉学園緑小学校	瀧澤 正太郎	サッカー
八坂小学校	赤坂 大輝	サッカー

### 【訂正】

学校名	氏名	表彰内容
開進第一小学校	及川 真凜	サッカー
光和小学校	豊田 秀真	トランポリン
大泉中学校	遠藤 朱理	バドミントン

## 内藤幸子氏が教育委員会委員長に就任

内藤幸子氏は任期満了となった外松和子氏の後任として、平成26年4月11日に教育委員会委員長に就任しました。任期は1年です。



### 保育園

## 6園交流会を実施しています



豊玉地区にある公私立あわせて6つの保育園では毎年、年長児の交流会を行っています。

昨年度は豊玉第三保育園が幹事園となって7月にお化け屋敷ごっこを実施し、他の5園の年長児（5歳児）を招待しました。予想以上の怖さに泣いてしまった子もいましたが、とても盛り上がり喜んでもらった様子でした。



最後は「また会おうね！」と、お互い笑顔で再会を楽しみにお別れしました。今は別の保育園でも、小学校では一緒になるかもしれない子供たちです。就学前

に少しでも友達になれる機会として、また年長児同士がお互いを刺激し合える場として、有意義な交流会にできたのではないかと考えています。

そろそろ今年度の交流会の企画を考える時期ですが、昨年度と同様、年長児たちにとって思い出に残る交流会にしていきたいと考えています。

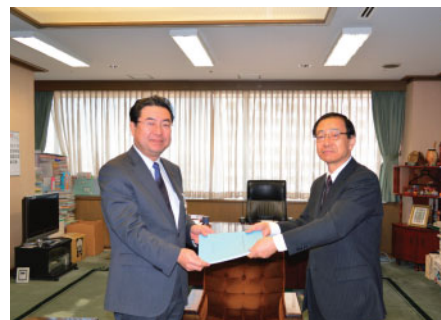


【問合せ】 保育課 管理係（電話 5984-5839）

## 学期制および土曜授業の在り方について、教育課程検証委員会より答申がありました。

区では平成19年度から全中学校で、平成20年度から全小学校で二学期制を導入し、平成24年度からは振替休業日を設定しない土曜授業を実施しています。教育委員会では、平成25年6月に、「教育課程検証委員会」を設置し、これらの取組に関する成果と課題を整理し、今後の方向性について検証するよう諮問しました。平成26年2月には検証を終え、教育課程検証委員会委員長から教育長へ答申が提出されました。本委員会では学校関係者、保護者、学校評議員に意識調査を実施するなど、様々な視点で協議・検証してきました。学期制については、長期休業を区切りとした三学期制に移行することが望ましいこと、土曜授業は、現在実施している年間8回程度の実施が望ましいことという内容の答申がありました。この答申を受け、教育委員会において今後の方向を検討していきます。

なお、答申の全文については、教育委員会のホームページをご覧ください。



【問合せ】 教育指導課 指導主事（電話 5984-5759）